

(1) 服装規定について

<濃紺ブレザースタイル>

- ① 本校指定の標準服を着用してください。
(ブレザー・ズボン・スカート・カッターシャツ)
- ② ズボンのベルトは、黒色・無地のものを使用してください。スカートについては、ウエストの調節機能があるので、ベルトは使用しないでください。
- ③ シャツの裾はズボン・スカートの中に入れてください。
- ④ スカートの丈は、ひざが隠れる程度としてください(3年間の成長を見越して、購入してください)。
- ⑤ 肌着は、原則白を基調としたものを着用してください。ハイネックやフード付き、極端に袖や丈が長いものは着用しないでください。なお、体調面や健康上の理由などの事情がある場合は、着用について配慮させていただきます。
- ⑥ 靴下は白色を基調としたものを着用してください。ワンポイントは構いません。安全性のためくるぶしが見えるような丈が短い靴下や、ルーズソックスは着用しないでください。
- ⑦ ストッキングを着用する場合は、肌色とします。
- ⑧ 校内では、名札をつける。

※ 気候や体調に応じて、ブレザーを脱いで調節しても構いません。

<夏季ポロシャツスタイル>

- ① 本校指定の半袖ポロシャツと、ズボンまたはスカートを着用します。
- ② その他の規定はブレザースタイルと同様です。

※ 気候や体調に応じて、ブレザーを着用して調節しても構いません。

<通学シューズ>

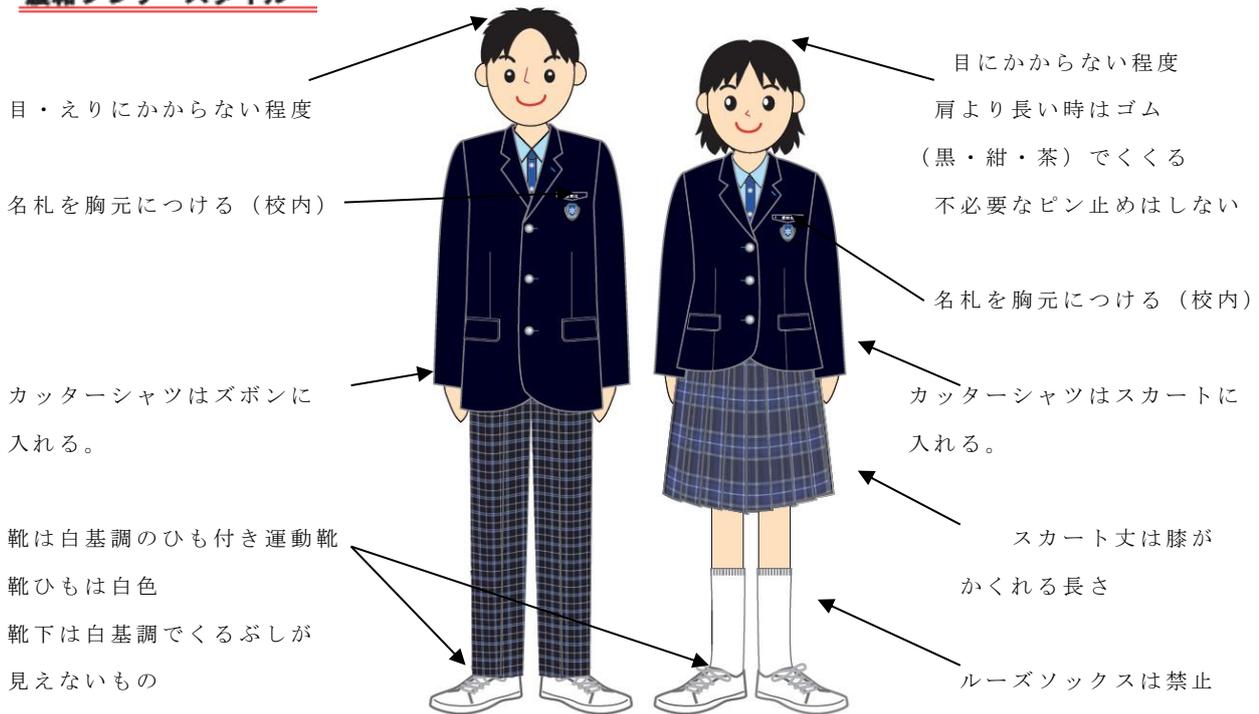
- ① 白を基調としたひも付きの運動靴を使用してください。靴ひもも白とします。一部、色ラインやワンポイントは構いません。
- ② ハイカットの靴は禁止とします。

<冬季の防寒具>

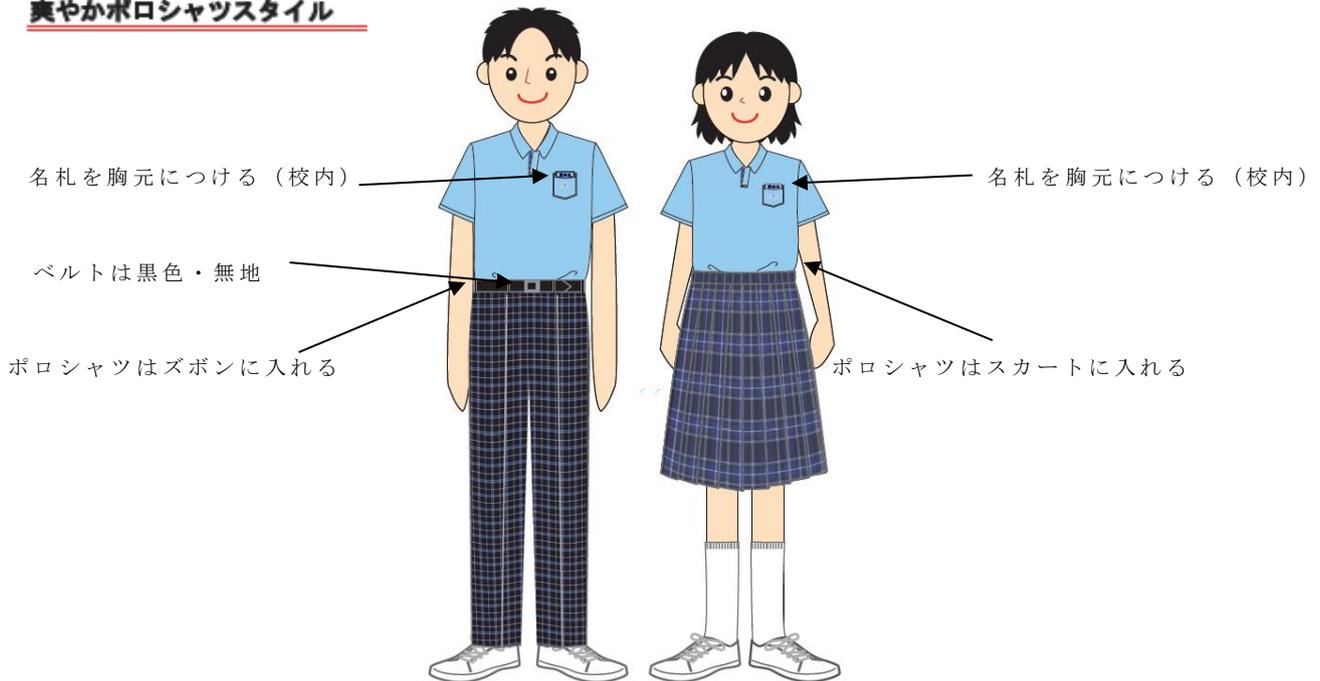
- ① 手袋・マフラー・ネックウォーマーは登下校時に限り、使用を認めています。
- ② 標準服の下には、本校指定のセーターの着用を認めています。
- ③ 標準服の上には、本校指定のウインドブレーカーの着用を認めています。

※ セーター・ウインドブレーカーの購入は自由です。必要であれば購入してください。

濃紺ブレザースタイル



爽やかポロシャツスタイル



※その他の規定はブレザースタイルと同じです

※女子は、スラックスも選択可能です。

長袖シャツ



ボタン



ワッペン



刺繍



(2) 髪型等の規定について（規定にないことについては、学校の指示に従ってください）

- ① 学生として、清楚で端正な髪形にしてください。極端な髪形については、禁止とします。肩より長くなる場合は、後ろで束ねてください。ゴムやヘアピンは、黒など目立たないものを使用してください。
- ② パーマや脱色などの頭髪加工、ワックスなどの整髪料使用は禁止です。
- ③ 装飾品を身につける、ピアスの穴をあける、化粧などは禁止です。

(3) 通学について

◎ かばん

- ① 通学時には指定かばん（大）を使用してください。入り切らない場合はサブバッグ（小）を併用してください。行事・テスト等では、サブバッグのみで登校する場合があります。
- ② 通学かばんにシールをはったり、キーホルダーをつけたり、ペイントマーカーなどで落書きをしてはいけません。

◎ 持ち物

- ① 学校生活に不必要なものを持ってこないでください。
（スマホ、マンガ、トランプ等の遊び道具、お菓子類）など
- ② 学校生活に不必要なものを持ってきた場合は、生徒への指導後、保護者の方に学校まで引き取りに来ていただいております。

◎ 自転車通学

- ① 自転車通学は禁止です。（ケガ等でやむをえない場合は、担任にご相談ください。）
 - ② 自転車通学をした場合は、生徒への指導後、保護者の方に学校まで引き取りに来ていただいております。
- ※特に自転車通学については、自転車を学校近くにとめる等、地域の方々にもご迷惑をおかけしますので、ご家庭でもご協力よろしく願いたします。

(4) 「学校安心ルール」について

大阪市教育委員会作成の「学校安心ルール」が本校でも運用されています(次頁)。この「学校安心ルール」は、すべての生徒がいじめ・暴力などから守られ、安心・安全に学校生活を過ごせるように作成されました。

すべての子どもたちの将来を考えて指導します。子どもたちの健全育成のため、主旨をご理解のうえ、ご協力をよろしくお願いします。

(5) 保護者の皆様へお願い

中学校の3年間は子どもの心身の著しい成長が見られる一方で、不安定な時期でもあります。

保護者の皆様もいろいろ不安やご心配になられることがあるかと思いますが、善悪の判断をつけるときには毅然とした態度で接してください。

さらに、家庭と学校は子どもを育てる両輪の役目があります。同じ基準で接することが健やかな成長につながると考えます。担任を始め学校との連携を常に心がけてください。

「手は離そう。しかし、目は離さず。」がこの時期の子育てのポイントだといわれます。保護者と学校がしっかり手を取り合って、子どもたちの健全な成長のために努力しましょう。